

## 平成29年度 関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会 開催結果

- 1 開催日時 平成30年2月22日(木) 10時00分～17時00分  
平成30年2月23日(金) 9時05分～14時55分
- 2 開催場所 関東森林管理局 2階大会議室
- 3 発表課題 1日目(22日) 16課題  
2日目(23日) 8課題 計 24課題
- 4 特別講演 演 題 「ニホンジカによる被害を減らすための管理のあり方」  
外部講師 国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
野生動物研究領域 鳥獣生態研究室  
主任研究員 飯島 勇人 氏
- 5 参加者 発表者、職員、行政機関等および一般来場者あわせて  
(※スタッフを除く2日間延べ人数) 合計 415名
- 6 審査員 審査員長 吉永 秀一郎(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
多摩森林科学園 園長)  
審査員 谷本 丈夫(宇都宮大学 名誉教授)  
福田 栄子(栃木県 林業振興協会女性部会 顧問)  
柴田 銃江(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所  
森林植生研究領域 群落動態研究室長)
- 7 受賞結果 別紙のとおり
- 8 概要 発表は、国有林16課題(外部共同発表含む)、群馬県1課題、栃木県1課題、静岡県1課題、森林整備センター1課題、群馬県立農林大学校1課題、静岡県立農林大学校1課題、茨城県立大子清流高等学校1課題、静岡県立天竜高等学校1課題、計24課題であった。  
部門別では、森林・林業・木材産業の成長産業化を推進するための試験研究、技術開発等に関する内容の「森林技術部門」が14課題、公益重視の管理経営を推進するための世界自然遺産地域や保護林などの貴重な森林生態系の適切な保全と利用等に関する内容の「森林保全部門」が6課題、国民に開かれた管理経営を推進するための地域住民やNPO法人等と連携して行った森林づくりに関する内容の「森林ふれあい部門」が4課題であった。  
2日目午後の特別講演では、森林等に著しい被害を発生させているニホンジカについて、ニホンジカが及ぼす影響やニホンジカ対策(モニタリング、目標設定、管理捕獲)などについて講演があり、来場者からは質問が出るなど関心の高さが伺えた。



会場の様子



発表の様子



受賞者記念撮影